

景気動向指数
平成 23 年 4 月分（速報）の概要

4月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：96.4、一致指数：103.8、遅行指数：90.7となった。（注）

先行指数は、前月と比較して3.7ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.66ポイント下降し、6ヶ月ぶりの下降、7ヶ月後方移動平均は0.25ポイント下降し、5ヶ月振りの下降となった。

一致指数は、前月と比較して0.3ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.57ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.27ポイント上昇し、21ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して1.8ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.80ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.33ポイント上昇し、16ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

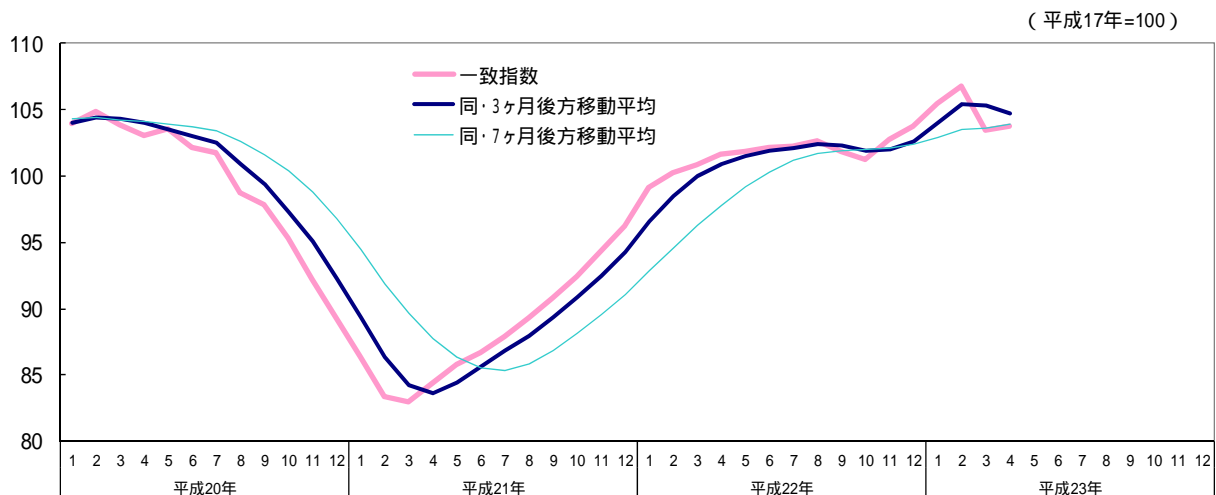
景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。ただし、東日本大震災の影響により、C I一致指数の3ヶ月後方移動平均の前月差が2ヶ月連続でマイナスとなっている。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.42	C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.42
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.31	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.33
C10：中小企業売上高(製造業)	0.27	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.20
C3：大口電力使用量	0.23	C11：有効求人倍率(除学卒)	-0.16
C1：生産指数(鉱工業)	0.11		
C9：営業利益(全産業)	0.02		
C4：稼働率指数(製造業)	0.00		

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。
なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。